

ケビン・メア米国務省日本部長（前在沖米国総領事）の発言に対する抗議決議

ケビン・メア米国務省日本部長による「沖縄県民は、ゆすりでごまかしの名人で怠惰」との発言報道は沖縄県民を驚愕させている。

また、普天間飛行場を「特別に危険ではない」との発言は、沖縄県民の心をひとつにし、9万人余が参加した昨年4月25日の県民大会における民意への許しがたい挑戦でもある。

戦後65年間、基地の重圧にさらされ、今なお過重な基地負担を強いられている沖縄県民を愚弄し、侮辱するメア発言は断じて容認できない。

よって、本市議会は、メア米国務省日本部長の差別的で、沖縄を植民地扱いしている発言に対して厳重に抗議し、撤回及び謝罪、そして、辞任を強く要求する。

以上、決議する。

平成23年（2011年）3月8日

那覇市議会

あて先 米国大統領、米国務長官、駐日米国大使、米国務省日本部長、
在沖米国総領事